



本日は 第2952回 例会
プログラム
スポーツって楽しい
No.2774 11月14日(土)

次週以降の予定

11月19日(木) ゲスト卓話
11月26日(木) そらぶちキッズキャンプの現状について
12月3日(木) 年次総会

第2951回 例会報告

2015年 11月5日(木)

第3回クラブ協議会

宮崎 英彰 会長

皆様、こんにちは。嵯峨ガバナー歓迎の挨拶はもう少し大勢いる前で行いたいと思いますので割愛させていただき、PETS並びに地区協議会での出来事ですが、如何に嵯峨ガバナーがリーダーとして相応しい人が紹介したいと思えます。まず、RI会長の今年度テーマであります、「世界へのプレゼントになろう」であります。英訳は「Be a Gift To The World」でありまして、これが地区協議会の時に論議を呼びました。ニセコRCが、英語の堪能な人から言わせるとギフトがプレゼントになることによって上から目線物を恵むようなニュアンスなので和訳を変えてくれと言うのです。ガバナーは私は英語は分からないけど、Gets(ガバナーエレクトセミナー)が行われる3カ月前の6月の理事会で決まったことだから変えられないと切り返しました。こうゆうところがすばらしいと思えました。プレゼントというのは和製英語だと思っていましたので、私には違和感というよりギフトよりも親しみやすい感覚を持ちました。私だったら何も問題ないしよ、文句言うなと言って喧嘩になるところでした。後で分かったことですがだいたい「present day」といえば現代のだし、「present address」といえば現住所のことですし、プレゼンテーションとかプレゼントとかが派生語で名詞ではないと思っていました。研究社 新英和中辞典によると「present」は親しい人の間の贈り物。「gift」は「present」より改まった語で、値打ちのあるもの・寄付などに用いられると書いてありました。これから察するにやっぱ和製英語だと思えます。ということでガバナーの一端をご紹介して私からの歓迎の挨拶と致します。本日は宜しくお願ひいたします。

ロータリーの友誌11月号紹介

先週のプログラム

◇理事会担当例会◇

ーガバナー公式訪問例会ー

宮崎 英彰 会長 歓迎の挨拶

本日はガバナー公式訪問例会でございます。先程終了しました第3回クラブ協議会に出席された役員、理事、委員長、入会2年以内の会員の皆様、そして何より嵯峨ガバナーお疲れ様でした。嵯峨ガバナーにおかれましては、7月7日の深川RCを皮切りに本日を含めまして61クラブの公式訪問を終えられ、11月26日の岩見沢RCを訪問しての長丁場、あと残すところ9クラブとなりました。もう少しですので頑張ってくださいと思います。滝川ロータリークラブ83名の会員一同このガバナー公式訪問を熱烈に歓迎いたします。ようこそ滝川にお越しいただきました。また、先月行われましたRI2510地区地区大会が盛大に開催され成功裏に終了しましたことをお慶び申し上げます。ラーメンや地元の豚肉、美唄焼き鳥が美味しかったし、あの大道芸人しゃべりすぎて体勢を崩したとき舌をかみ切って死んじゃうんでないかと心配しながら見ておりました。また手嶋氏の基調講演の後の表彰式との並行プログラム空知の元気な団体プレゼンに招待いただき、そらぶちキッズキャンプのPRをさせていただきましたことに感謝しております。大屋地区大会実行委員長その節はどうもありがとうございました。

本年度も4カ月が過ぎ残すところ8カ月となり今夜の理事会で1月2月の例会計画協議が整えば、あとは4月に行われますIMを乗り切れば終わるという遠くに日差しが見えてきました。そう考えますとガバナーに置かれましては、11月26日が終わればあとは楽勝とは行かないと言うことが分かります。各グループのIMに出席しなければならないからです。12グループのIMですら70クラブを回る公式訪問よりも楽かもしれません、それにしても大変なスケジュールですし、公式訪問よりも時間を多く取られるし、夜だからお酒を飲まないといけないうし、その労苦に心より敬意を表します。ということで嵯峨ガバナーの体調をおもんばかって滝川で行われますIMについてはサラーとやりたいと思いますので宜しくお願ひいたします。

さて、我がクラブでは、CLP導入3年目を迎えておりそろそろ総括をする時期ですが、導入前と全く変わりませんので総括は、5年後に行いたいと思います。先程の協議会に於いて嵯峨ガバナーから難解な戦略計画についてお手ほどきを頂きましたので、協議会の感想とかご示唆頂ければ幸いです。本日は、宜しくお願ひいたします。

大屋地区大会実行委員長挨拶



10月3日、4日に開催された地区大会には滝川からたくさんの方のメンバーにお越しいただきましてありがとうございます。1,770名の参加登録をいただき、盛大に開催することができました。心より御礼を申し上げます。

会長挨拶



本日は、ガバナー公式訪問例会であります。ガバナーにおかれましては、会長幹事会、クラブ協議会と続きお疲れのところ後もう少しですのでご辛抱下さい。詳しい挨拶は、歓迎の挨拶の中で行いますのでこの辺で会長挨拶を終わります。

幹事報告



- ①. 砂川RCより11月例会プログラム、羽幌・深川RCより会報が届いています。
- ②. ガバナー月信11月号を購読者の各ロッカーへ配布いたしました。
- ③. 本日午後6時30分から第11回定例理事会を開催します。関係者の出席をお願いします。
- ④. 来週12日(木)の例会は、振替休会となります。14日(土)は青少年奉仕委員会担当の移動例会です。院短期大学に12時30分にお集まり下さい。お間違いないようご注意ください。

11月の祝福

嵯峨義輝ガバナー 挨拶・卓話



滝川RC訪問は2510地区70クラブ中60クラブ目となります。滝川RCの皆様には松原章ガバナー補佐を選任いただいたことを心より御礼申し上げます。私は、渡 恭久ガバナー年度のガバナー補佐でした。また、私がガバナーに指名された時の指名委員長は渡 恭久会員でした。渡 恭久会員には大変お世話になり、ご縁を感じております。現在でも米山奨学委員会の評議員や地区大会での指導者育成セミナーの取り仕切り、規定審議会の代表議員の補欠議員といった重責を担っていただいております。

先ほど会長・幹事会、クラブ協議会に参加しました。経

験年数の浅い委員長が素晴らしい報告をされていました。若い会員、ベテランの会員バラエティに富んだ会員の力がこのクラブの活力になっているのだと思います。

ロータリークラブは多様性を重んじます。職業の多様性、国家の多様性、民族の多様性、男女の多様性、色々な多様性をすべて包含しながら寛容を旨としてロータリークラブは展開しています。寛容という言葉について感動的なスピーチを聴きましたので、皆様に披露いたします。国際協議会開会の場でラビンドランRI会長のスピーチです。

ラビンドラン氏はインド生まれのスリランカ人です。ラビンドラン氏はスリランカの大きなお茶畑を代々経営する家に生まれた親子3代にわたるロータリアンであり、21歳でロータリークラブに入会したそうです。ですが、スリランカが社会主義国家となった際、その畑はすべて国有化され、農園労働者になりました。スリランカはたくさんのお茶が収穫できる国ですが、当時お茶に付加価値をつける加工はシンガポール・オーストラリア・イギリスなどイギリス連邦の国で行われていました。しかし、これではスリランカは貧しいままである、何とかしたいと考え、ラビンドラン氏はプリントケアというティーバッグの会社を設立しました。ラビンドラン氏は、ロータリークラブに入り寛容という言葉を学んだと述べています。スリランカは8割のシンハリ族と2割のタミル族で構成される国家であり、民族間闘争が長く続いていたのですが、ラビンドラン氏は少数民族であるタミル人です。しかし、ラビンドラン氏はロータリークラブに入って少数民族の悲哀を感じたことは一度もないそうです。もし、少数民族が差別されるようなことがあれば、コロンポロータリークラブの会長になることはできなかった、スリランカ人として始めてRIの会長に立候補したときスリランカすべてのロータリアンが応援をしてくれることもなかった、ロータリーというのは多様性を認める寛容な団体だと述べていました。そして、全世界の人々がロータリアンになれば戦争など起こるはずがない、是非ロータリーの仲間を増やしようというスピーチを締めくくりました。そのスピーチを聴いた後、私を含めた当時のガバナーエレクトが集まって話をしていたときに、ある地区のガバナーエレクトから自分の地区に米山奨学金をクラブとして寄付しないというクラブがあるという話が出ました。それをきっかけに何人かの別の地区のガバナーエレクトからも実は自分の地区もそうなんだという話が出ました。

ロータリークラブというのは寛容性を大事にするという話を聴いた後に自分の地区を振り返るととても寂しい気分になるという話をしたことを思い出しました。ロータリーというのは好きとか嫌いとかではなく、寛容性、違いを認めるということが大事なのだと思います。ロータリアンはどんな国からであっても、米山奨学生として我が国にやってくる学生を支援し未来への架け橋となってもらうようにしなければなりません。RIでは毎年年度目的を理事会で議決します。第1はポリオの撲滅です。第2は会員増強です。

まず、会員増強のお話をします。滝川RCでは大きく会員増強をしていただきありがとうございます。ですが、会長・幹事会では会長から新入会員も多いが辞めていく会員も多いという悩みを聞きました。私からお願いしたいのは出席しない会員に気を配っていただきたいということです。ある会員が出席しなくなってしまったとしたら、その会員のスポンサーや親しい会員が中心となって出席するよう働きかけをしていただきたいのです。統計をとってみると入会3年未満の会員の退会率が高いということが分かりました。そこで、地区大会では入会3年未満の会員を対象に特別なプログラムを用意しました。来年1月には入会3年未満の会員を対象に1泊の合宿を予定していますので是非ご参加ください。また、女性会員の拡大にも力を入れたいと考えています。滝川RCでは4名の女性会員がいますが、2510地区ではまだまだ女性会員が少ない状況です。滝川RCのように他のクラブでも女性会員の増強に力を入れていただきたいと考えています。

次にポリオの撲滅についてお話をします。

皆さんの寄付のおかげでポリオの撲滅はもう目の前まで来ています。ロータリークラブが初めてポリオの撲滅に関わったのは1979年のことです。この当時125カ国でポリオが蔓延していました。毎年35万人以上の子どもたちがポリオに患っていました。このような状況の中、フィリピンのバスターガバナーがロータリークラブでポリオ予防の運動を行うことができないかという書簡をRIに送りました。これを受けてRI

ではフィリピンに毎年600万人分のワクチンを5年続けて送りました。その結果、劇的な効果が顕れました。1985年にはポリオ撲滅計画が発表され、ポリオ撲滅のために1億2000万ドルを集めようという計画が行われました。多くのロータリアンの寄付のおかげで計画の2倍以上にあたる2億5000万ドルが集まりました。これを元にRIがユニセフ、世界保健機構、全米疾病センターに働きかけ、ポリオ撲滅のための組織を立ち上げました。2014年ユニセフの日本事務所長のスピーチを聴く機会がありました。彼は我々の前で深く頭を下げ、皆さんののおかげで1300万人の子どもの未来が救われたというお話しがありました。これまで深く考えずに寄付をしてきましたが、自分たちの寄付がこのような大きな結果を生んだことにとっても感慨深い思いを持ちました。

これからも胸を張って、誇りを持ってロータリーライフを送っていただくではありませんか。

ニコニコBOX

嵯峨 義輝ガバナー

ガバナー公式訪問をさせていただきました。

松原 章ガバナー補佐

ガバナー公式訪問に随行させて頂いて。

武田 邦彦会員

滝川市民文化祭と文化賞表彰式を無事終えて。

渡邊 恭久会員

嵯峨ガバナー・大屋大会実行委員長・江本地区幹事補佐をお迎えして、心から歓迎いたしますと申し上げます。

神部 洋史会員

渡邊ガバナー時代のガバナー補佐の嵯峨さんが、ガバナーとなり我がクラブを訪問していただき。

宮崎 英彰会員

嵯峨ガバナーをお迎えして！

近藤 正孝会員

嵯峨ガバナーをお迎えして！

向井 辰巳会員

同郷の河戸会員と目が合い、笑顔に感謝して。

渡辺 浩司会員

誕生日をいただいて。

奥山かおる会員

？十回目の誕生日にお花をいただいて。

五十嵐達明会員

誕生日にお花をいただいて。

山口 清悦会員

結婚記念日のお祝いをいただき。

小山 進会員

結婚記念日のお祝いをいただき。

水原 勝之会員

結婚記念日のお祝いをいただき。

峯村 征秀会員

結婚記念日のお祝いをいただき。

河戸三千之会員

結婚記念日のお祝いをいただき。

熊谷美由紀会員

クラブ協議会に新入会員として初めて参加させて頂いて。

佐々木弘彦会員

新しいチャレンジの機会を与えられて、ご協力頂きました会員の皆様有難うございます。

会長／宮崎 英彰

幹事／渡辺 浩司

編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp

ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。